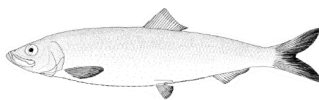


20. ニ シ ン

主な漁業と漁期

沖合底びき網：10～11月
 刺し網・小定置：1～3月
 えびこぎ網：9～11月

日本海海域（後志～宗谷）
【石狩湾系群】



生態

◆分布・回遊

成魚の分布は、石狩湾を中心とする後志管内～宗谷湾にかけての日本海海域と推定されます。

◆産卵期・産卵場

◎産卵期は、石狩湾では1～4月上旬、留萌以北の海域では2月中旬～5月上旬です。

◎産卵場は石狩湾沿岸（余市～浜益）、留萌海域沿岸（増毛～初山別）、および稚内の沿岸域に形成されると考えられています。

◆成長・成熟

	尾叉長(mm)	体重(g)
1歳	194	124
2歳	243	174
3歳	269	228
4歳	289	277
5歳	303	400
6歳	316	420

*）尾叉長：産卵期前（10～11月）の留萌沖のもの（2011～2015年の平均）

体重：産卵期（1～3月）の石狩湾沿岸域のもの（2012～2016年の平均）

*）加齢の基準日：5月1日

◎成熟年齢・尾叉長

尾叉長23cm、満1歳（2年魚）から一部が成熟します。

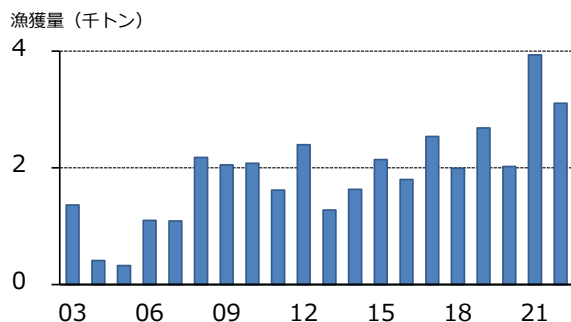
※産卵場への来遊は、1月に5歳以上の高齢魚、2月に3～4歳魚、3月に1～2歳魚と、漁期の進行にともなって次第に来遊群が若齢化していく傾向があります。

資源評価

[評価年] 5月～翌4月

[資源水準の指標] 3歳以上の資源重量

2022年度の漁獲量は3,105トンで過去最高だった前年度より減少していますが、2008年度以降高い水準を維持しています。翌年にかけての資源動向は横ばいと判断されました。刺し網の網目規制等により若齢・小型魚の漁獲が抑えられ、産卵親魚が安定的に確保されており、資源は合理的に利用されています。



2022年度
の水準



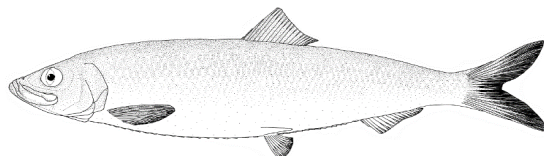
2023年度
の動向



資源の維持・増大のために！

資源管理の現状(主なもの)

- 漁業権行使規則等
使用漁具数、刺し網の網目、禁漁区域・期間などを設定しています。
- 沖合底びき網漁業の条件
体長22cm未満の小型魚保護のため漁場移動の措置が定められています。
- その他
石狩湾地区では、操業の早期切り上げ、刺し網目合の拡大（2寸目以上）により、尾叉長25cm未満の保護を図っています。



☆資源の有効利用のため、現状の措置を継続することが必要です。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係
 北海道立総合研究機構 中央水産試験場資源管理部

電話 011-204-5477
 電話 0135-23-8707